



ダブルブラウザ・ソリューションの  
取り扱い終了について  
(お客様向け資料)

超サポ  
愉快カンパニー

アシスト

株式会社アシスト  
ビジネスインフラ技術本部 システム基盤技術統括部 技術6部

# 製品情報

## ● 対象製品

- ・ ダブルブラウザ・ソリューション

## ● ソリューション製品構成

- ・ ダブルブラウザLinux Blaze (Ericom Software提供)
- ・ IVEXダブルブラウザLinux (日本ナレッジ株式会社提供)
- ・ ファイル共有オプション (日本ナレッジ株式会社提供)
- ・ ログオプション (日本ナレッジ株式会社提供)
- ・ URL自動判別オプション (株式会社インフォメーション・ディベロップメント提供)
- ・ ダブルブラウザ連携キット (株式会社アシスト提供)

**Ericom Connectは上記ソリューションの一部を形成する場合がありますが  
今回の販売/サポート終了の対象外です。**

# 新規販売終了と継続保守の終了について

製品名	新規・追加販売終了日	継続保守終了日
ダブルブラウザLinux Blaze	2023年3月31日	2026年3月31日
IVEXダブルブラウザLinux		
IVEXダブルブラウザLinuxファイル共有オプション		
IVEXダブルブラウザLinuxログオプション		
ダブルブラウザ連携キット		
URL自動判別オプション		

上記以外の期間を要望されるお客様は個別にアシストにご相談ください。

# ご案内レター

ご案内用のレターは以下の通りです。

お客様向け

[ERI0427A ダブルブラウザ・ソリューション取り扱い終了について お客様向け.pdf](#)

# 移行先ソリューションのご案内

ダブルブラウザ・ソリューションの移行先のソリューションとして、Ericom社のEricom Shieldおよび、Ericom Shield Cloudをご用意しております。

Ericom Shieldの製品ページ

<https://www.ashisuto.co.jp/product/category/web-isolation/ericom-shield/>

Ericom Shield Cloudの製品ページ

<https://www.ashisuto.co.jp/pr/ericom/ericom-shield-cloud.html>

尚、ご検討いただけるお客様には特別価格を準備しておりますので、弊社担当営業にご相談ください。

## ダブルブラウザ・ソリューションのご利用を継続検討いただく場合の注意点

### ■ダブルブラウザLinuxをご利用のお客様について

IVEXダブルブラウザLinuxの使用権許諾の前提が保守サービス契約が有効であることになっているため、保守サービス契約の終了と共に使用権を失います。したがって、サポート終了後の継続利用は不可となります。

### ■Windows版ダブルブラウザをご利用のお客様について

ご利用いただいているソフトウェア（Ericom Connect、ダブルブラウザ連携キット、URL自動判別オプション）の使用権自体はサポート終了後も有効なため、お客様の責任においてサポート終了後も上記対象製品については継続利用が可能となります。

### ※補足

アシストが使用権許諾者となっている「ダブルブラウザ連携キット」と「URL自動判別オプション」の使用権許諾契約書自体には、許諾期間、およびその解約条件についての明確な定めが無いため、使用権許諾期間を双方で別途合意するまで継続する契約という扱いになります。

# ダブルブラウザ・ソリューション製品を2026年3月末までサポート受けるための条件

## ダブルブラウザ・ソリューションLinux版（コネクションブローカあり）をご利用のお客様

- ダブルブラウザ・ソリューションのコネクションブローカとしてはEricom Connect 9.5をご利用ください。
- Ericom Connect 9.5の導入OSに依存して（Microsoft社のEOSに準拠）Ericom Connect Server の導入OSのバージョンアップが必要になる場合があります。  
Windows Server 2016以上に導入されていれば上記期間は問題ありません。
- IVEXダブルブラウザLinuxは以下のバージョンとパッチの適用が必要になります。  
2.6.0/2.6.1/2.6.2  
尚、対象パッチについては2023年3月末までにリリース予定となります。  
IVEXダブルブラウザLinux 2.5をご利用の場合は2.6へのバージョンアップが必要となります。  
（IVEXダブルブラウザLinux 2.5ではEricom Connect 8.5までしかサポートされておらず、Ericom Connect 8.5のEOSが2023年9月5日になるため）
- 対象パッチの適用猶予期間として、上記パッチが適用されていない場合でも2023年9月末までは製品に関する問い合わせと調査は可能ですが、修正版の提供は対象パッチが適用されていることが前提となるため、お早めに対象パッチを適用いただくようお願い申し上げます。
- IVEXダブルブラウザLinuxの導入OSであるベースOSは現状サポートされているバージョンのみが対象となります。  
（新しいベースOSはサポートされません）  
CentOS 7.4 / 7.5 / 7.6 / 7.7 / 7.9  
RHEL 7.4 / 7.5 / 7.6 / 7.7 / 7.9 / 8.0 / 8.1 / 8.2 / 8.3 / 8.4 / 8.5  
Almalinux 8.3 / 8.4 / 8.5  
尚、CentOS 7.xにIVEXダブルブラウザLinuxを導入いただいているお客様はRHELもしくはAlmalinuxへの入替が必要となります。  
（CentOS 7.xのEOSが2024年6月30日のため）  
上記の例外として、CentOS7.xもしくはRHEL7.xのお客様に於いて、ベースOSのバージョンを変更せずに継続利用を希望する場合は、ベースOSに起因した修正サポートを受けられないことを了承いただける前提であれば、ベースOSに起因した課題以外であれば、ダブルブラウザ製品の修正サポートは受けられます。
- ダブルブラウザとしてご利用いただくブラウザのバージョンは固定が必要となります。  
（2023年3月末時点でご利用いただいていたバージョン）

# ダブルブラウザ・ソリューション製品を2026年3月末までサポート受けるための条件

## ダブルブラウザ・ソリューションLinux版Blaze（コネクションブローカなし）をご利用のお客様

- IVEXダブルブラウザLinuxは以下のバージョンとパッチの適用が必要になります。  
2.5.0/2.5.1/2.6.0/2.6.1/2.6.2  
尚、対象パッチについては2023年3月末までにリリース予定となります。
- 対象パッチの適用猶予期間として、上記パッチが適用されていない場合でも2023年9月末までは製品に関する問い合わせと調査は可能ですが、修正版の提供は対象パッチが適用されていることが前提となるため、お早めに対象パッチを適用いただくようお願い申し上げます。
- IVEXダブルブラウザLinuxの導入OSであるベースOSは現状サポートされているバージョンのみが対象となります。  
(新しいベースOSはサポートされません)  
CentOS 7.4 / 7.5 / 7.6 / 7.7 / 7.9  
RHEL 7.4 / 7.5 / 7.6 / 7.7 / 7.9 / 8.0 / 8.1 / 8.2 / 8.3 / 8.4 / 8.5  
Almalinux 8.3 / 8.4 / 8.5  
尚、CentOS 7.xにIVEXダブルブラウザLinuxを導入いただいているお客様はRHELもしくはAlmalinuxへの入替が必要となります。  
(CentOS 7.xのEOSが2024年6月30日のため)  
上記の例外として、CentOS7.xもしくはRHEL7.xのお客様に於いて、ベースOSのバージョンを変更せずに継続利用を希望する場合は、ベースOSに起因した修正サポートを受けられないことを了承いただける前提であれば、ベースOSに起因した課題以外であれば、ダブルブラウザ製品の修正サポートは受けられます。
- ダブルブラウザとしてご利用いただくブラウザのバージョンは固定が必要となります。  
(2023年3月末時点でご利用いただいていたバージョン)



# ダブルブラウザ・ソリューション製品を2026年3月末までサポート受けるための条件

## Windows版ダブルブラウザ・ソリューションをご利用のお客様

- ダブルブラウザ・ソリューションのコネクションブローカとしてはEricom Connect 9.5をご利用ください。
- Ericom Connect 9.5の導入OSに依存して（Microsoft社のEOSに準拠）Ericom Connect Server の導入OSのバージョンアップが必要になる場合があります。  
Windows Server 2016以上に導入されていれば上記期間は問題ありません。